

省略(注) の箇所は、出題について誤りがあることが判明したため省略しています。

2026年度

E_A

日本史

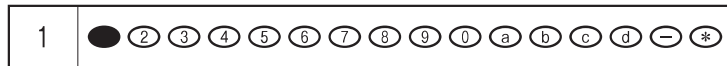
注意

1. 問題は全部で17ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)



4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次のA～Cの文章を読んで、後の問に答えなさい。1～11は解答用紙(その1)、ア～カは解答用紙(その2)を用いること。

A 7世紀中ごろ、改新の詔が発せられると、中央集権的な国家体制が整備されていった。^④律令国家において政治を担う中央官庁は二官八省である。田地は班田取授法^⑤に基づき、男性は2段、女性はその3分の2の1段^⑥ア歩の口分田が与えられた。この制度を実施するため田地はイ制によって区画された。律令制下の人民の負担は、租、調、庸、^④雑徭があった。

問1 空欄ア イに入る語句を数字・漢字で答えなさい。

問2 下線部^④に関連して、7世紀に起きた出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥の中から一つ選んでマークしなさい。1

Ⅰ 庚午年籍をつくる。

Ⅱ 八色の姓を制定する。

Ⅲ 壬申の乱が起きる。

① Ⅰ-Ⅱ-Ⅲ ② Ⅰ-Ⅲ-Ⅱ ③ Ⅱ-Ⅰ-Ⅲ

④ Ⅱ-Ⅲ-Ⅰ ⑤ Ⅲ-Ⅰ-Ⅱ ⑥ Ⅲ-Ⅱ-Ⅰ

問3 下線部^⑥に関して述べた次の文X、Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。2

X 中務省は詔書の作成を担った。

Y 大蔵省は財政を担った。

① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤

③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問 9 下線部⑧に関して述べた文として誤っているものを、次の選択肢から一つ
選びなさい。 [7]

- ① 御成敗式目は貞永式目とも呼ばれ、北条泰時が制定した。
- ② 御成敗式目は 51 か条で成り立っている。
- ③ 室町幕府でも御成敗式目が基本法典とみなされていた。
- ④ 御成敗式目は初代執権北条時政以来の先例や道理に基づいている。

C 織豊政権となり、太閤検地が実施されたことで、全国統一した基準で^①検地が^②実施されるようになった。検地の実施は、土地の耕作者を決定するだけでなく、土地の地位を示すことで、当該地の公定生産高を [オ] で示した。この対象地は、田畠だけでなく、屋敷地なども含まれており、実収高を示すわけではない。

近世では検地を一円的に、かつ広範囲でやり直すこともあった。関東で行われた元禄検地や、畿内で行われた延宝検地がある。このときは田畑の位付けを細分化するとともに、原野、^③塩浜なども検地の対象に加えている。

領主は村々に対し [オ] に応じて^④年貢を賦課することになる。村を単位に年貢を納める仕組みを村請制^⑤という。年貢率のことを、漢字一字で [カ] と呼ぶ。たとえば「 [カ] 六つ」といえば、年貢率は6割である。いわゆる六公四民ということになる。

問10 空欄 [オ] [カ] に入る語句を漢字で答えなさい。

問11 下線部⑥に関連して、織豊政権期に起きた出来事Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の①～⑥の中から一つ選んでマークしなさい。 [8]

Ⅰ バテレン追放令が発せられる。

Ⅱ サン＝フェリペ号事件が起きる。

Ⅲ 長崎を直轄地とする。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問12 下線部①に関して述べた次の文X・Yについて、その正誤の組み合わせとして正しいものを次の選択肢から一つ選べ。 [9]

X 戦国大名は、農民に耕作地面積や収入額を自己申告させた。

Y 検地帳には本百姓だけでなく小作人も記載されていた。

- ① X 正 Y 正 ② X 正 Y 誤
③ X 誤 Y 正 ④ X 誤 Y 誤

問13 下線部①に関連して、江戸時代の産業について述べた次の文X・Yと、それに該当する語句a～fとの組み合わせとして正しいものを、下の①～⑨のうちから一つ選べ。 [10]

X 高級紙である奉書紙や鳥の子紙が生産された。

Y 漆器生産が盛んとなった。

a 美濃 b 越前 c 播磨

d 尼崎 e 輪島 f 有田

- ① X-a Y-d ② X-a Y-e ③ X-a Y-f
④ X-b Y-d ⑤ X-b Y-e ⑥ X-b Y-f
⑦ X-c Y-d ⑧ X-c Y-e ⑨ X-c Y-f

問14 下線部⑤に関連して、江戸時代における本百姓の負担について述べた次の文について、誤っているものを下の①～④のうちから一つ選べ。 [11]

- ① 山野河海の利用や農業以外の副業などにかかる小物成があった。
② 一国単位でかけられる河川など土木工事での夫役労働などの国役があった。
③ 公用交通に人足や馬を差し出す伝馬役が課せられた。
④ 家屋敷の高請地を基準として高掛物が課せられた。

II 次のA～Dの文章を読み、後の問に答えなさい。

A 15世紀に成立した琉球王国は貿易で栄えた独立国であったが、1609年、幕府の許可を得た [ア] の軍が侵攻するとこれにやぶれ、薩摩藩の支配下に置かれた。薩摩藩は琉球を中国からの輸入品を入手するためのルートと位置づけるとともに、琉球特産の砂糖やウコンなどを日本市場に転売し、経済的にうるおった。また、琉球王国は、將軍や国王の代替わりごとに幕府に使節を派遣した。

問1 [ア] にあてはまる人物名を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問2 下線部aに関連して、次の①～④の文の中から正しいものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。 [12]

- ① 琉球王国は都を首里におき、その外港である名護が中継貿易の拠点として繁栄した。
② 15世紀後半になると朝貢貿易の総量が減少したため、琉球王国は中国福建方面との密貿易に乗り出した。
③ 琉球王国の貿易の範囲は朝鮮半島から東南アジア各地に及んだが、16世紀半ばになるとオランダ商人や後期倭寇におされてその活動は衰えた。
④ 17世紀に薩摩藩の支配下に置かれたのち、琉球王国は中国王朝への朝貢貿易を廃止した。

問 3 下線部①に関連して、次の①～④の文の中から誤っているものを選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。13

- ① 琉球王国は、国王の代替わりごとに謝恩使を、日本の将軍の代替わりごとに慶賀使を幕府に派遣した。
- ② 朝鮮は1607年以降使節を日本に派遣するようになり、4回目からは朝鮮通信使と呼ばれるようになった。
- ③ オランダ商館長は毎年江戸に参府して将軍に謁見したが、これは将軍の家臣として、また商人の頭として将軍に礼を述べるものであった。
- ④ 17世紀に中国で明清交替がおき政治的な安定をみると日中間の貿易は増加したが、あくまで民間貿易という扱いであり、両国の関係は「通信」と呼ばれた。

B 明治政府は琉球国王の を琉球藩王に任じ、琉球が日本に帰属するとしたが、中国(清)はこれを認めなかった。そこで、政府は琉球の漂流民が台湾で殺害された事件を理由に台湾出兵を行い、清から賠償金をえた。琉球人を保護する日本の行動を清が公認したことで琉球が日本に帰属することが認められたとした政府は、琉球の人びとの反対をおさえつけて琉球藩を廃し、沖縄県を設置した。だが様々な行政制度の導入は本土に比べ遅れた。沖縄民権運動の父と呼ばれる は、参政権獲得運動を展開した。

問 4 にあてはまる人物名を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 5 下線部③に関連して、次のⅠ～Ⅲの事項が発生した順番として正しいものを以下の①～⑥の選択肢から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。14

- | | | |
|---------|---------|---------|
| Ⅰ 征韓論政変 | Ⅱ 江華島事件 | Ⅲ 台湾出兵 |
| ① Ⅰ→Ⅱ→Ⅲ | ② Ⅰ→Ⅲ→Ⅱ | ③ Ⅱ→Ⅰ→Ⅲ |
| ④ Ⅱ→Ⅲ→Ⅰ | ⑤ Ⅲ→Ⅰ→Ⅱ | ⑥ Ⅲ→Ⅱ→Ⅰ |

問 6 次の表は下線部④に関連して本土と沖縄における主な行政改革の実施年をまとめたものである。これを見て、以下の(1)と(2)に答えなさい。

事 項	本 土	沖 縄
A	1871 年	(あ) 年
徴兵制施行	1873	1898
B	1873	1899
C	1889	1908(特別制)
衆議院議員選挙法施行	1890	(い)
D	1891	1909(特別制)

(1) 次のⅠとⅡの事項は、表のA～Dのいずれに該当するか。正しい組み合わせを以下の①～⑨の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。15

- | | |
|------------|------------|
| Ⅰ 地租改正施行 | Ⅱ 廃藩置県 |
| ① I-A II-B | ② I-A II-C |
| ③ I-A II-D | ④ I-B II-A |
| ⑤ I-B II-C | ⑥ I-B II-D |
| ⑦ I-C II-A | ⑧ I-C II-B |
| ⑨ I-C II-D | |

(2) (あ) と (い) に入る適當年号の組み合わせを、以下の①～④の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。16

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ① あ-1872 い-1912 | ② あ-1879 い-1912 |
| ③ あ-1872 い-1925 | ④ あ-1879 い-1925 |

問 7 ウ にあてはまる人物名を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

C 1945年3月末、アメリカ軍が慶良間列島に、ついで4月には沖縄島に上陸した。アメリカ軍の兵力は後方支援部隊を加えて約55万人であったのに対し、日本軍は約10万人であった。日本軍が敗退を重ねる間、多数の住民が軍に動員されたり戦闘に巻き込まれたりして亡くなった。

問 8 下線部④に関連して、日本の軍部について述べた次の①～④の文の中から誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。17

- ① 1941年時点における日本の軍令機関(作戦・指揮などを統括する機関)は陸軍においては参謀本部、海軍においては軍令部であった。
- ② 軍部大臣現役武官制は1913年から1936年まで制度上存在しなかったが、この間に予備役の者が陸海軍の大臣に就いたことはなかった。
- ③ 原敬内閣で陸軍大臣を務めた田中義一は1927年に内閣総理大臣に就任したが、その時には現役の武官を退いていた。
- ④ 第一次世界大戦で航空機の有用性が認められたのに伴い1916年にあらたに空軍が設置された。

問 9 下線部①に関連して、次のⅠ～Ⅲの文について正誤を判断し、その組み合わせとして正しいものを以下の①～⑧の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。18

Ⅰ 日本軍は1945年5月下旬には司令部を置いていた首里から撤退したが、本土決戦準備の時間をかせぐために戦闘が継続された。

Ⅱ 「鉄血勤皇隊」や「ひめゆり学徒隊」などとして戦場に動員された学徒隊では、約50%が犠牲となった。

Ⅲ 住民たちは、避難壕から日本軍によって追い出されたり、「集団自決」に追い込まれたりしたほか、スパイの嫌疑などで日本軍によって殺害されることもあった。

- | | |
|---------------|---------------|
| ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 Ⅲ－正 | ② Ⅰ－正 Ⅱ－正 Ⅲ－誤 |
| ③ Ⅰ－正 Ⅱ－誤 Ⅲ－正 | ④ Ⅰ－正 Ⅱ－誤 Ⅲ－誤 |
| ⑤ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 Ⅲ－正 | ⑥ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 Ⅲ－誤 |
| ⑦ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤 Ⅲ－正 | ⑧ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤 Ⅲ－誤 |

D エ 内閣は沖繩の返還交渉に本格的にとりかかり、日米首脳会談で、^⑨極東における平和と安全を維持するために日米安全保障条約を堅持することや、日本のアジアに対する補助を強化することなどを条件として、沖縄返還のための協議に入ることに合意した。こうしてこの内閣のもとで沖縄返還協定の調印、ついで沖縄の^⑩日本復帰が実現した。ただし、広大なアメリカ軍基地は残されたままであった。

問10 エ にあてはまる人物名を漢字で答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問11 下線部⑨に関連して、返還前の沖縄について述べた次の①～④の文の中から誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。19

- ① 日本の独立後も沖縄はアメリカ軍政下におかれ、1952年には琉球政府が設置された。
- ② 日本本土では1956年に沖縄問題解決国民運動が始まったが、沖縄では日本復帰を望む運動は起きなかった。
- ③ 1969年の日米共同声明により「核抜き・本土並み」の復帰が合意されたが、核兵器の撤去はあいまいになり、返還後も有事の核もち込み密約の有無が問題となった。
- ④ 1967年には日本の首相とアメリカのジョンソン大統領との間で3年以内の返還決定が合意に至り、1969年の日米共同声明は日本の首相とニクソン大統領とが発した。

問12 下線部⑩に関連して、次のⅠ～Ⅲの地域が日本に返還された順番として正しいものを以下の①～⑥の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。20

- | | | |
|---------|---------|---------|
| Ⅰ 小笠原諸島 | Ⅱ 奄美群島 | Ⅲ 先島諸島 |
| ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

Ⅲ 次の文章を読んで後の間に答えなさい。ア～エは解答用紙(その2)を、21～29は解答用紙(その1)を用いること。

人類が農耕と定住を始めたことによって人口が密集し、牧畜により人間と動物の接触が増えるようになってから、細菌やウイルスによる感染症の流行が人間社会を頻繁に襲うようになった。特に、人々の交流が盛んになると、流行の地理的規模は大きなものとなった。

天然痘は天然痘ウイルスによる感染症である。日本に仏教が伝来し大陸との交流が盛んになると日本にも流行し、感染力の強さと致死率の高さのため、多くの人の命が奪われた。敏達天皇、用明天皇の死去も天然痘によるとの可能性が指摘されている。奈良時代に入ると、平城京の建設によって人口密度が高まったことが天然痘拡大の一因となった。735年から738年にかけての流行では、藤原不比等の子である藤原ア・房前・宇合・麻呂の四兄弟が737年に相次いで死亡した。こうした疫病などの社会不安を鎮静するため、イ天皇は国分寺建立の詔と大仏造立の詔を出した。天然痘と人類の戦いに新局面を開いたのは1796年にエドワード・ジェンナーが牛痘による天然痘ワクチンを開発したことである。日本にも江戸時代に蘭学医の間で種痘が広がっていった。ウは治療費を取らず私財を投じて牛痘法を日本に広めた。

鎖国時代の長崎は新しい医学の入口であったが、感染症流行の入口でもあった。コレラ菌が媒介するコレラも九州から東へと広まっていった。1822年(文政5年)に日本で流行したコレラはオランダ商人が持ち込んだと言われている。この時は関所封鎖などでコレラの東進を箱根の手前で食い止めることに成功している。1858年(安政4年)のコレラはペリー艦隊の一隻だったミシシッピ号が長崎に寄港した際に乗組員から広がっていった。すでに鎖国状態が解かれた時代であり各地の港が開かれていたため、江戸でも感染が広まった。1862年(文久2年)には、麻疹の大流行ののちにコレラが流行した。こうした度重なる流行により、異国人は疫病を持ち込むものとして、攘夷思想が高まる一因ともなった。

明治維新以後の日本では何度もインフルエンザの流行があったが、中でも大正時代の1918年から1920年にかけて「スペイン風邪」が猛威をふるった。現代の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行に複数回の波があったのと同様に、ウイルスが変異を繰り返し、第1波・第2波・第3波と感染力や致死率を変化させながら襲ってきた。内務省衛生局の統計によると、約2380万人がスペイン風邪に感染し、約39万人が死亡したとされる。元老の山県有朋も罹患し、一時、重態に陥った。建築家のエはスペイン風邪によって死亡した。

人類は未だすべての感染症を制圧するには至っていないが、天然痘に関しては、1980年5月8日に世界保健機関(WHO)によって根絶宣言が発せられた。

問1 空欄アには藤原南家の祖であり藤原仲麻呂(恵美押勝)の父である人物の名が入る。その人名を漢字四文字で記しなさい。

問2 空欄イにあてはまる天皇の名を漢字二文字で記しなさい。

問3 空欄ウには大坂で適々齋塾(適塾)を開いた蘭学者の氏名が入る。その人名を漢字四文字で記しなさい。

問4 空欄エには1914年(大正3年)に開業した東京駅を設計した建築家の氏名が入る。その人名を漢字四文字で記しなさい。

問5

省略(注)

問 6 下線部⑥に関して、平城京に関する説明として正しいものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [22]

- ① 中国の都城を模した最初の本格的な都であり、持統天皇の時代に完成した。
- ② 元明天皇による遷都の詔で移った都であり、唐の長安にならっている。
- ③ 都の造営を主導していた藤原種継が暗殺されるという事件が起きた。
- ④ 和氣清麻呂の建議もあって定められた都である。

問 7 下線部⑦に関して、藤原不比等に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [23]

- ① 大宝律令ならびに養老律令を編纂し、律令国家の仕組みを整えた。
- ② 娘の宮子を文武天皇に嫁がせたうえ、その皇太子に娘の光明子を嫁がせた。
- ③ 父親は藤原氏の祖である藤原鎌足である。
- ④ 長屋王を自死に追い込み、光明子を皇后に立てることに成功した。

問 8 下線部⑧に関して、江戸時代の蘭学に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [24]

- ① 石田梅岩は長崎で学んだ科学の知識をもとに発明や実験を行った。
- ② 高野長英はシーボルトが長崎に開いた鳴滝塾で学んだ。
- ③ 大槻玄沢は『蘭学階梯』という蘭学の入門書を著した。
- ④ 前野良沢と杉田玄白は西洋医学の解剖書を翻訳した。

問 9 下線部⑨に関して、艦隊司令長官ペリーに関する説明として正しいものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [25]

- ① 4隻の軍艦で浦賀沖に現れた翌年、7隻の艦隊を率いて浦賀に再来航した。
- ② 下田に上陸して通商条約の締結を求めた。
- ③ 横浜・長崎・函館・新潟・神戸を開港させた。
- ④ 水産資源保護の観点から日本の捕鯨禁止を迫った。

問10 下線部⑩に関して、幕末期の開港と貿易に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [26]

- ① 横浜が開港されたあと下田は閉鎖された。
- ② 関税については日本に税率の決定権がなかった。
- ③ 開港場に外国人居留地が設けられた。
- ④ アメリカ南北戦争の軍需によってアメリカとの取引額が最も多かった。

問11 下線部⑪に関して、幕末の攘夷運動に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [27]

- ① 高輪東禅寺のイギリス仮公使館が水戸浪士の襲撃を受けた。
- ② ハリスの通訳であったヒュースケンが薩摩藩の浪士に殺された。
- ③ 生麦で島津久光の行列を横切ったアメリカ人が殺傷された。
- ④ 品川御殿山に建築中のイギリス公使館が高杉晋作らによって襲撃された。

問12 下線部⑫に関して、明治維新以後の日本の医学的貢献に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [28]

- ① 鈴木梅太郎が脚気の研究からビタミンB₁を発見した。
- ② 長岡半太郎がアドレナリンの抽出に成功した。
- ③ 北里柴三郎が破傷風の血清療法を確立し、ペスト菌を発見した。
- ④ 志賀潔が赤痢菌を発見した。

問13 下線部⑬に関して、山県有朋に関する説明として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 [29]

- ① 長州藩の奇兵隊の指揮官だった。
- ② 地方制度の改革を進め、市制・町村制について府県制・郡制を定めた。
- ③ 第1次山県内閣で陸海軍の軍事費を削減し地租軽減・地価修正を行った。
- ④ 第2次山県内閣で軍部大臣現役武官制を定めた。